

(仮称) 豊岡市新文化会館



豊岡市新文化会館整備 実施設計説明書 (概要版)
2023 (令和5) 年3月
株式会社石本建築事務所

1 はじめに

豊岡市の文化創造の拠点である豊岡市民会館及び出石文化会館（ひぼこホール）は、様々なアーティストによる芸術鑑賞としての場や地元住民による各種発表、集会、式典、展示等の場所として長年親しまれてきました。

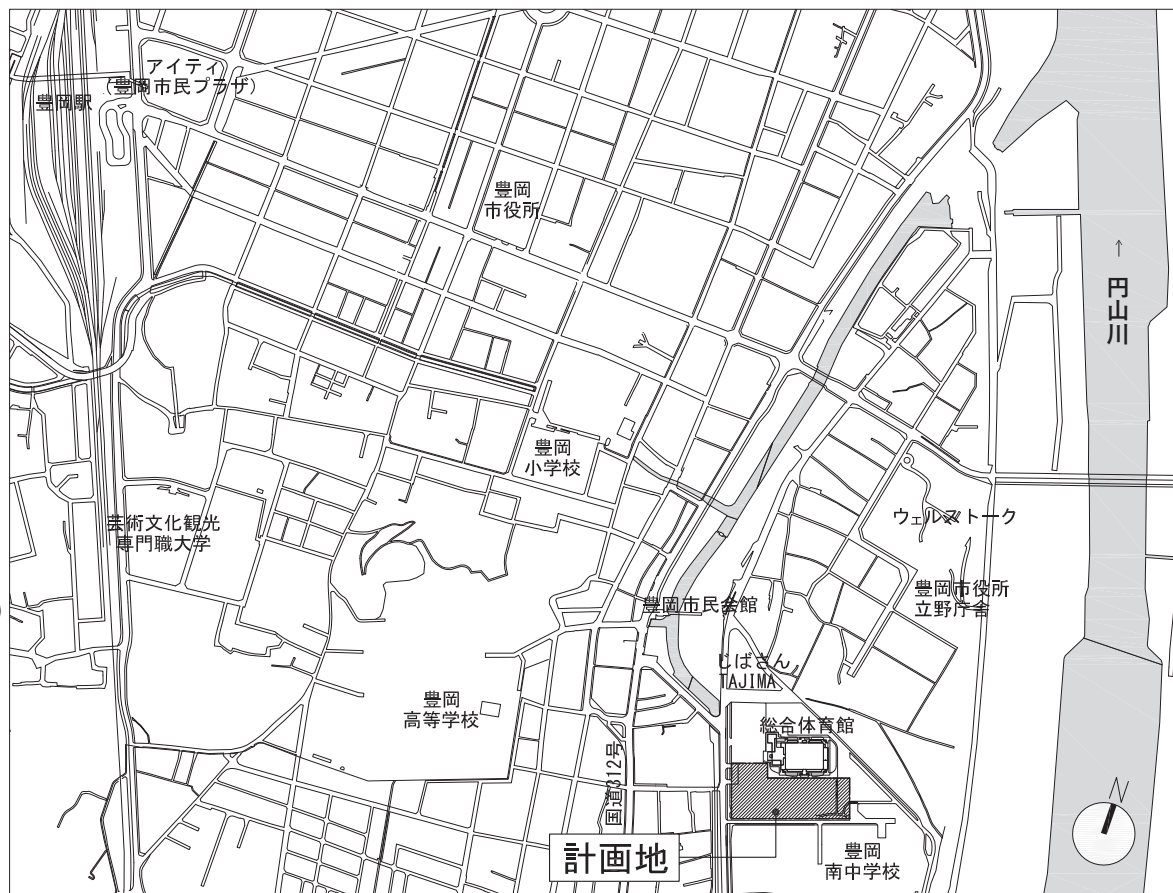
しかし、ひぼこホールは老朽化が著しく、安全性を確保することが難しいことから2018（平成30）年12月末をもって施設を廃止しました。また、豊岡市民会館についても、老朽化による安全性の確保や、社会の変化による使い勝手やバリアフリーへの対応など、改修による対応が困難な問題が発生している状況です。

こうしたことから、両館のホール機能を統合する形で、新たな文化会館を整備することとなりました。

2 施設概要

- ・ 計画地 兵庫県豊岡市大磯町地内
- ・ 敷地面積 9,640.22 m²
- ・ 地区・地域 区域：都市計画区域
都市計画公園 中央公園区域内
用途地域：近隣商業地域
防火地域：指定なし
建蔽率：80%
容積率：300%
- ・ 前面道路 西側：幅員 6.5m
- ・ 主要用途 劇場
- ・ 建築面積 3,708.92 m²
- ・ 延床面積 5,743.58 m²
- ・ 階数 地上3階建て
- ・ 高さ 最高高さ 28.7m
- ・ 構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・ 駐車場新設台数 113台
(現市民会館解体跡地の駐車場台数含まず)
- ・ 全体事業費 約65.2億円(税込)
※財源は公共施設等適正管理推進事業債をはじめ、
公共施設整備基金、森林環境基金などを有効に活用し、
市の一般財源に与える影響を最小限に抑えます。
- ・ 予定事業スケジュール
2023年度 着工
2025年度末 完成
2026年度 開館
2026～2027年度 現豊岡市民会館解体後、駐車場整備

■案内図



3 計画のコンセプト

求められる役割

ア 市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供する

イ 多様なレベルの文化芸術活動・創造拠点となる

ウ 地域文化を次世代に引き継ぐ

エ 交流を生み出す、市民の居場所となる

オ 文化芸術による「小さな世界都市づくり」を発信する

カ 他の文化芸術施設と有機的に連携し、文化芸術の力を最大化する

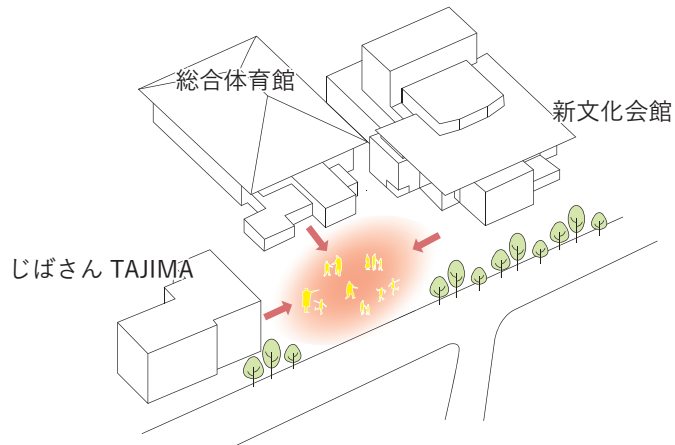


北西側鳥瞰

4 設計コンセプト

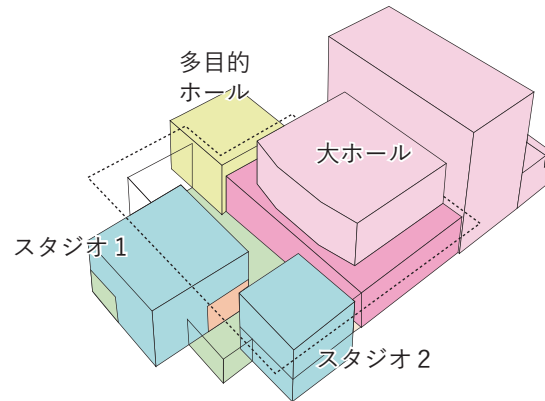
周辺施設をつなぐシンボルとなり、エリアの魅力を高める

新文化会館・総合体育館・じばさん TAJIMA の3つの施設が広場を中心とした連携がしやすい計画



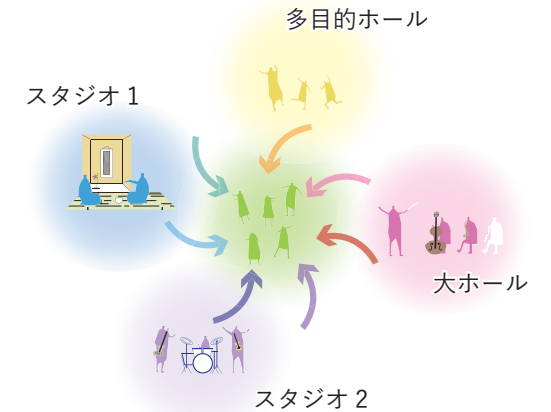
4つのブロックと大屋根によるシンプルな構成

大屋根が、練習室やギャラリー兼創作室などが入る2つのブロックと、それに多目的ホール、大ホールを加えた4つのブロックに支えられたシンプルな構成

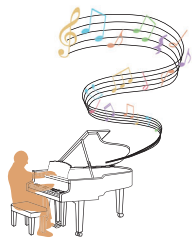


4つの活動が囲む交流スペース

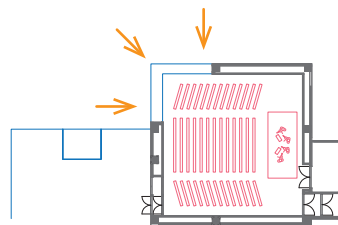
4つのブロックに囲まれた市民交流スペースが施設の中心にあり、賑わいにあふれた施設計画



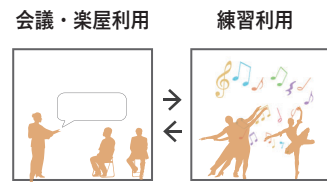
■音楽をベースにした多機能ホール



■広場から活動が見える多目的ホール



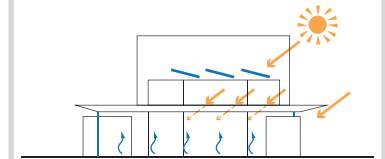
■重ね使いによる施設の利用率向上



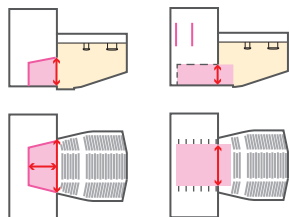
■県産木材を利用した温かみのある内装仕上げ



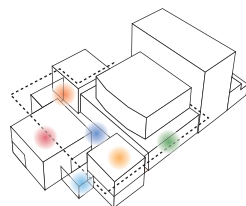
■環境負荷の低減に配慮した計画



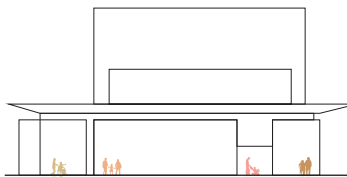
■多様な演目に対応できる可変機構



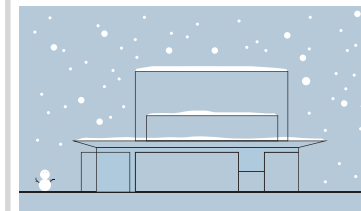
■快適な居場所が点在する施設



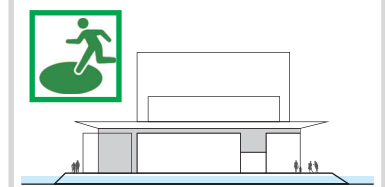
■ユニバーサルデザインに配慮した施設



■雪を落とさない大屋根



■指定緊急避難場所として機能確保



5 全体構成

(1) 4つのブロックと大屋根によるシンプルな構成

各部門（創造活動部門、管理運営部門）を2つのスタジオに集約し、多目的ホール、大ホールを加えた4つのブロックが大屋根を支えるシンプルな構成です。

それぞれのブロックは鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造とし、大屋根を支える頑丈な構造であり、ブロックごと（ホール、練習室等）の遮音構造も兼ねる合理的なシステムです。

(2) ブロックごとの明快なゾーニング

各機能ごとにまとめられたすべてのブロックが市民交流スペースを囲む、見つけやすく、アクセスしやすい明快なゾーニングとします。各ブロック間は行き止まりのない回遊性のある動線でつなぐことで賑わいを創出し、市民の日常的な利用を促進します。

大ホール

- ・車いす席を含め791席で2層式の客席とし、音楽をベースに様々な舞台芸術に対応する多機能ホールとして設えます。
- ・車いす席を6席設け、ユニバーサルデザインにも配慮しています。
- ・舞台のレベルを1階レベルに合わせ、搬出入やバリアフリーにも配慮した計画とします。

多目的ホール

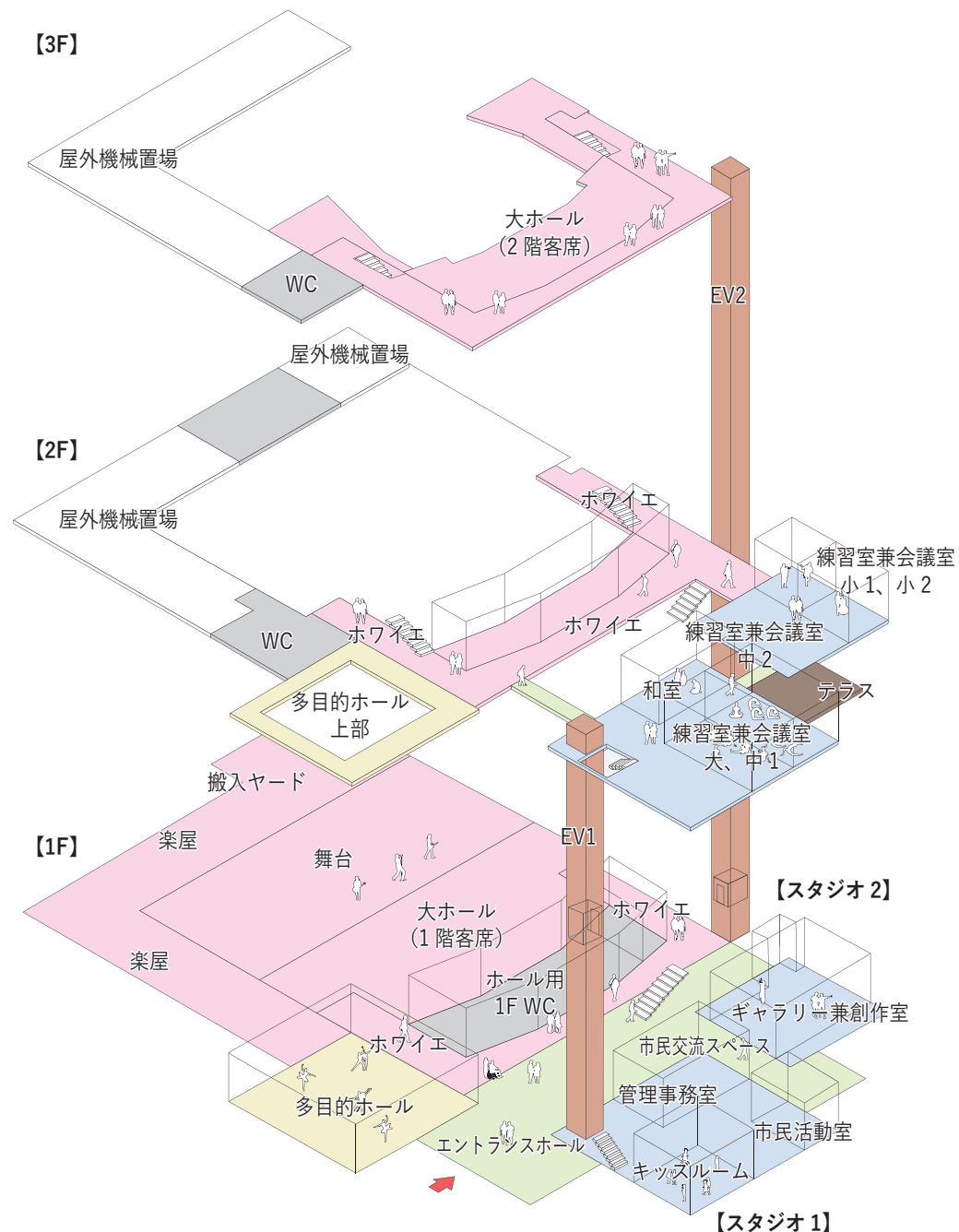
- ・大ホールのリハーサル室としても利用できるよう、舞台の主舞台と同等の広さを持つ平土間空間としています。
- ・屋外の広場から活動の様子が見える計画とします。

創造活動部門

- ・大中小の練習室兼会議室は市民が音楽やバレエなどの練習に利用できるだけでなく、会議室や講演会などにも利用できる場所として使いやすいようまとめて配置します。
- ・和室及び練習室兼会議室中2は市民交流スペースに面した場所に位置し、市民交流スペース等の賑わいが相互に感じられる計画とします。

交流部門

- ・スタジオとホールに囲まれた大屋根の下の空間は様々な人の居場所となり、施設の賑わいを創り出します。
- ・市民交流スペースは、施設の中心の吹抜けにも位置し、2階ホワイエ等とのつながりを感じることができる計画とします。



6 各階平面図・諸室説明

(1) 1階平面図

■キッズルーム

日常的に子育て世代の方が利用しやすいよう、エントランスホールに近く、わかりやすい位置に配置します。

外からも賑わいが感じられる計画とします。

■エントランスホール

入口近くの溜り空間としてソファやテーブルを配置し、外部からも賑わいが感じられる計画とします。多目的ホールのホワイエとしても機能します。

■多目的ホール

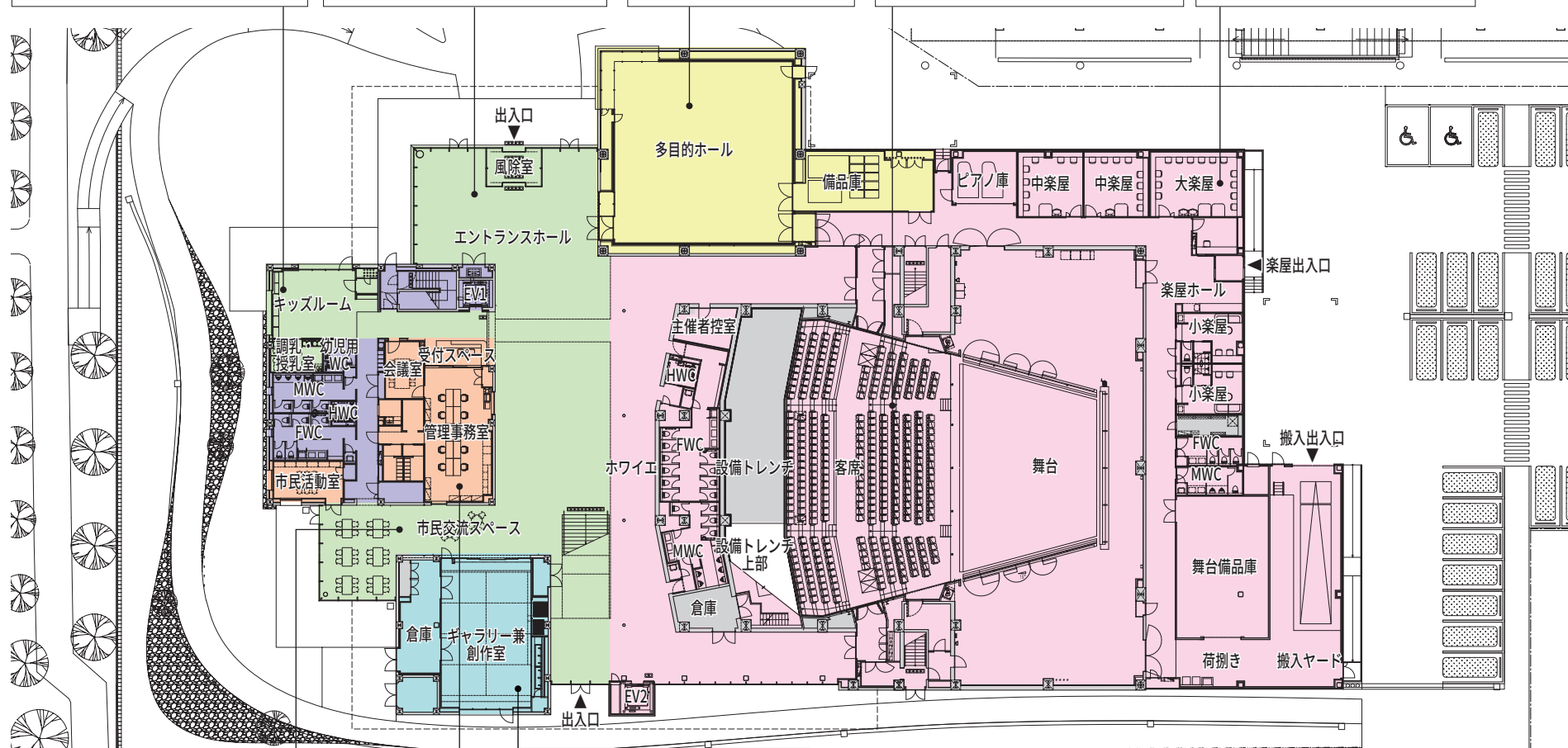
大ホールのリハーサル及び中規模の催しを開催できるホールとして利用しやすい位置に計画します。

■1階客席

1階客席で606席（内、車いす席4席）を確保します。前舞台部、車いす席増設部については取り外し可能な客席を配置します。

■楽屋

大・中・小の楽屋を舞台下手側にまとめて配置します。



■市民交流スペース

催し物がなくても市民が気軽に訪れ、交流や憩いの場となり、施設の賑わいを創出するスペースです。中高生をはじめとした市民が利用できるようにWiFi環境や充電用コンセントを設置します。

■管理事務室

エントランスからの視認性を考慮して施設中央のわかりやすい位置に設置します。様々な場所に目が届き、管理しやすい計画とします。

■ギャラリー兼創作室

天井を高くして可動展示パネルを設置し、大きな作品も展示可能です。また絵画や工作、舞台道具の製作等も可能です。

6 各階平面図・諸室説明



市民交流スペース

6 各階平面図・諸室説明

(2) 2階平面図

■練習室兼会議室大

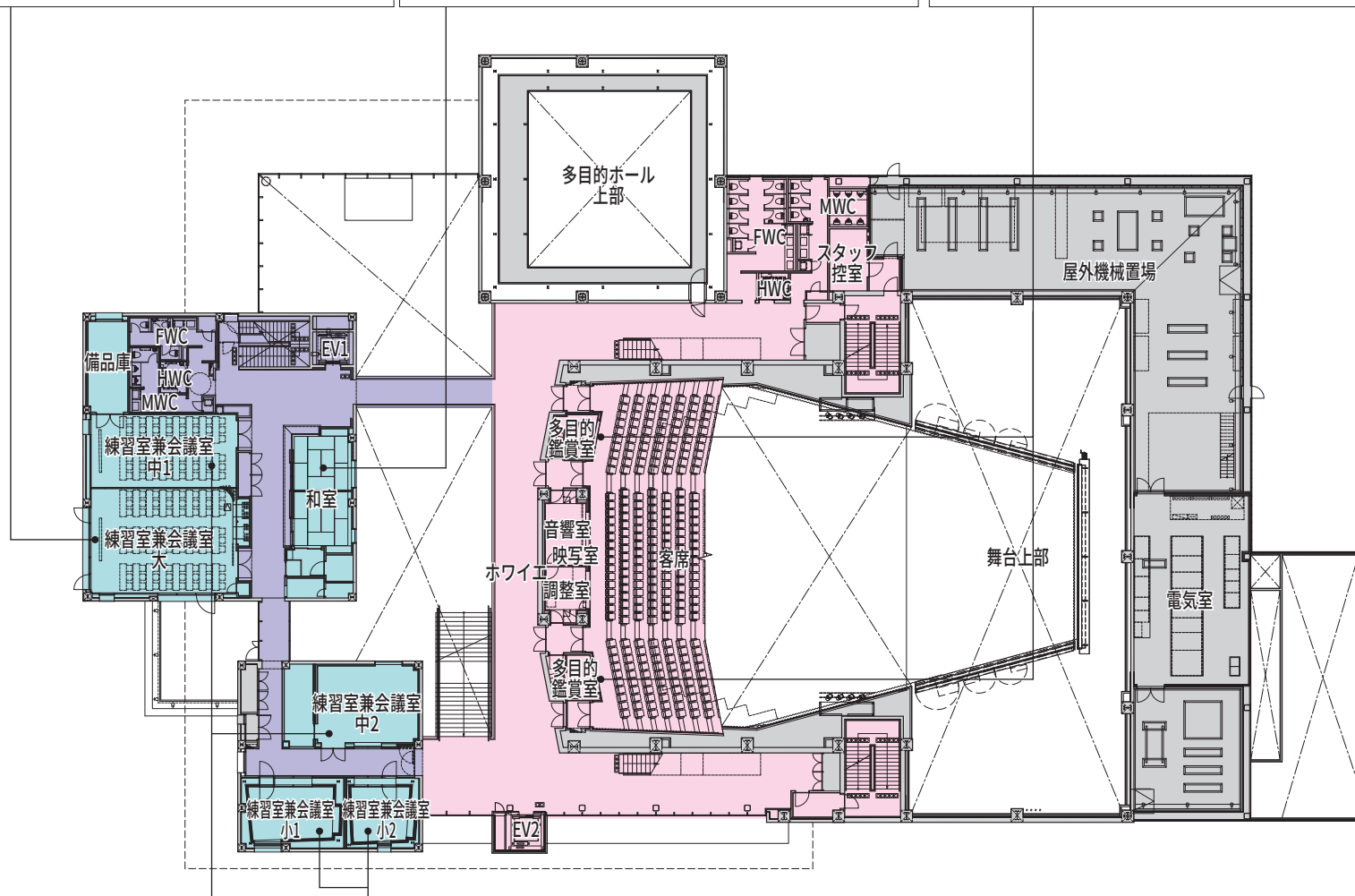
練習室兼会議室中1と隣接して配置し、移動間仕切で仕切る計画とします。一体的に利用できる設えとすることで利用規模に応じて柔軟に対応します。

■和室

茶道や日本舞踊の練習場として利用可能な計画とします。市民交流スペースを見渡せる場所に配置し、相互に賑わいを感じられる設えとします。

■多目的鑑賞室

乳幼児連れの方など、多様な利用者が気兼ねなく鑑賞できるよう、多目的鑑賞室を2室設置します。



■練習室兼会議室中1、中2

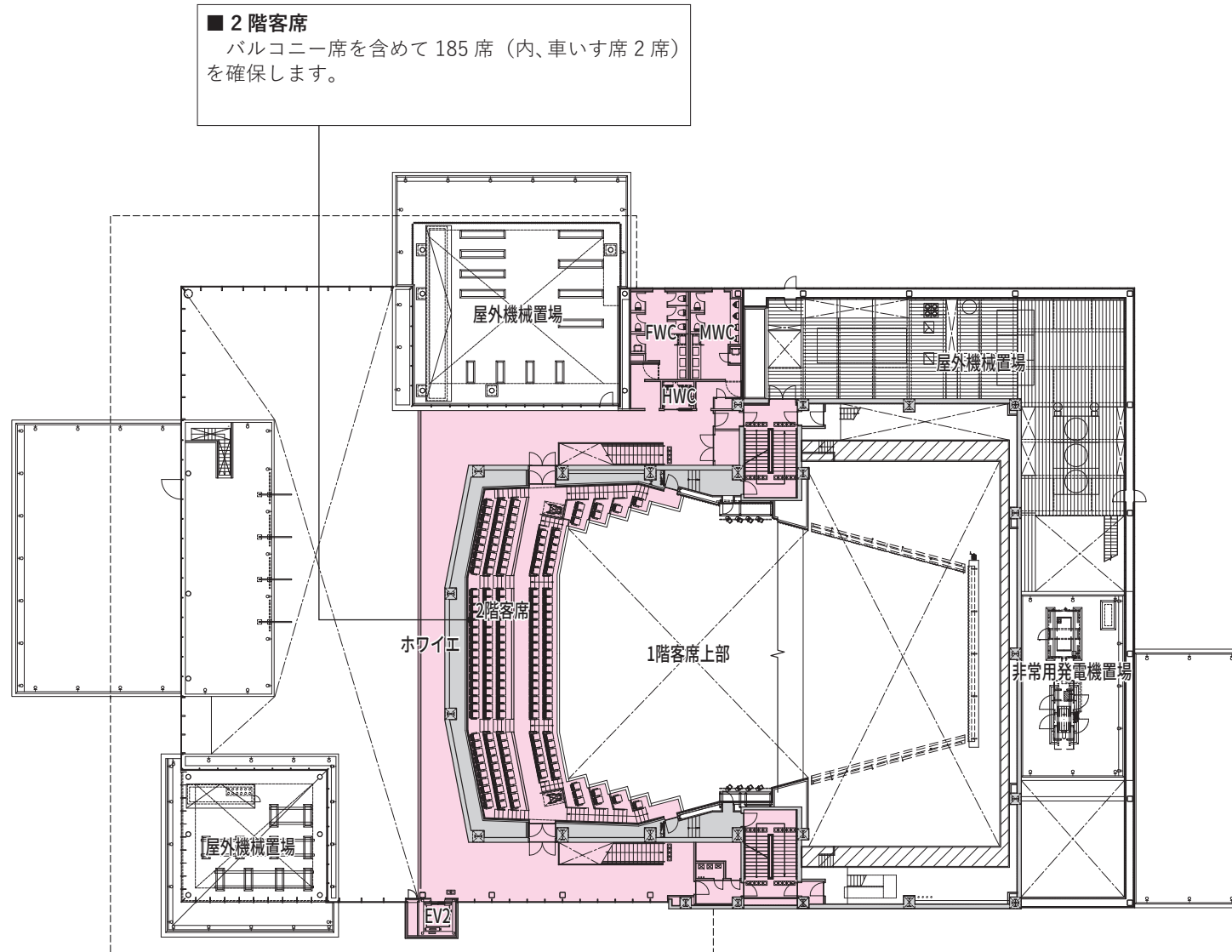
一体利用できる部屋や防音・振動に配慮した部屋など、それぞれの特徴を持った部屋として計画します。

■練習室兼会議室小1、小2

バンド練習などの音出しを行うことができる練習室として大きさの異なる2室を計画します。共用部から活動が感じられる設えとします。

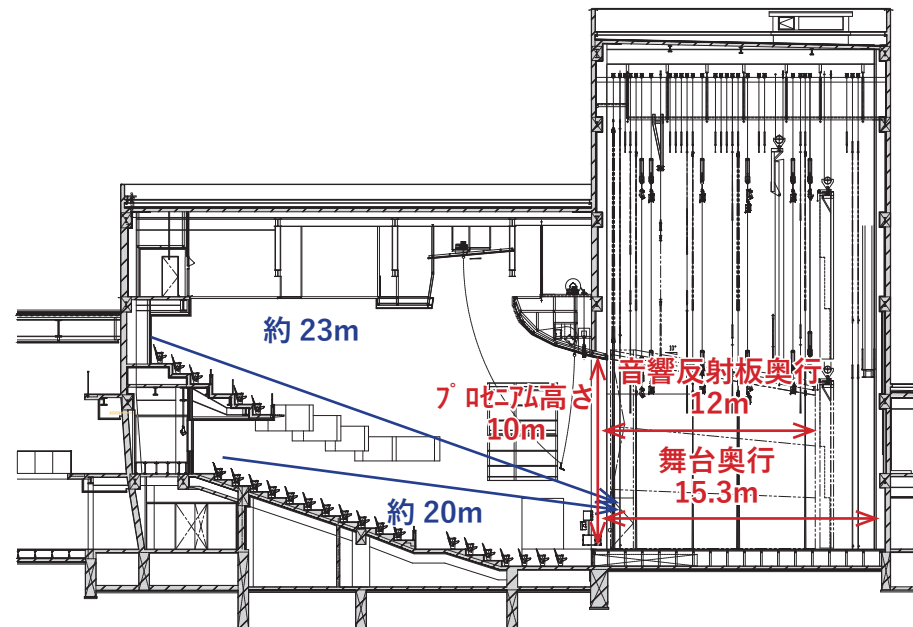
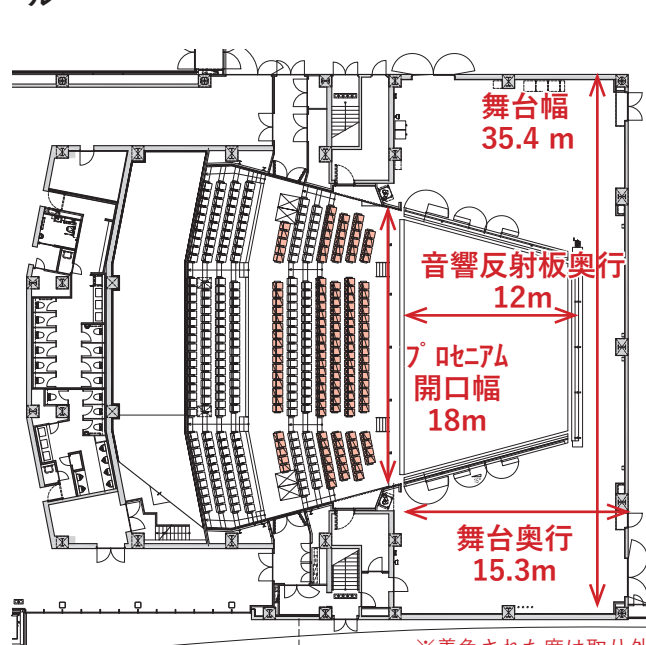
6 各階平面図・諸室説明

(3) 3階平面図



6 各階平面図・諸室説明

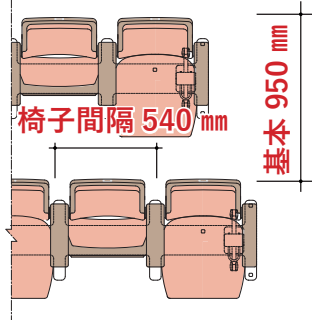
(4) 大ホール



※着色された席は取り外し可能席です

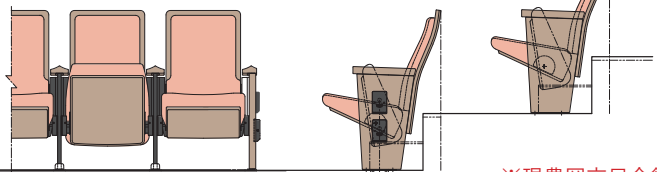
客席数

千鳥配置



1階客席	606席
	(内、車いす席4席)
2階客席	185席
	(内、車いす席2席)
計	791席
	(内、車いす席6席)

椅子の前後間隔
基本 950 mm



※現豊岡市民会館よりゆとりある客席空間を確保します。



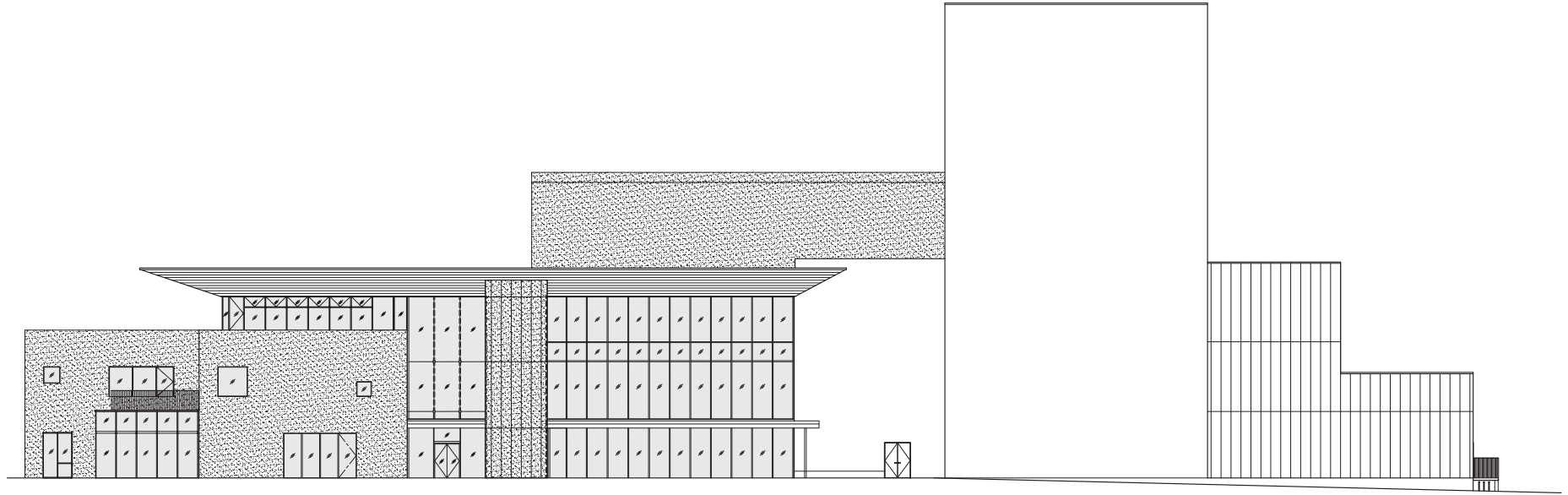
6 各階平面図・諸室説明

(5) 主要諸室一覧

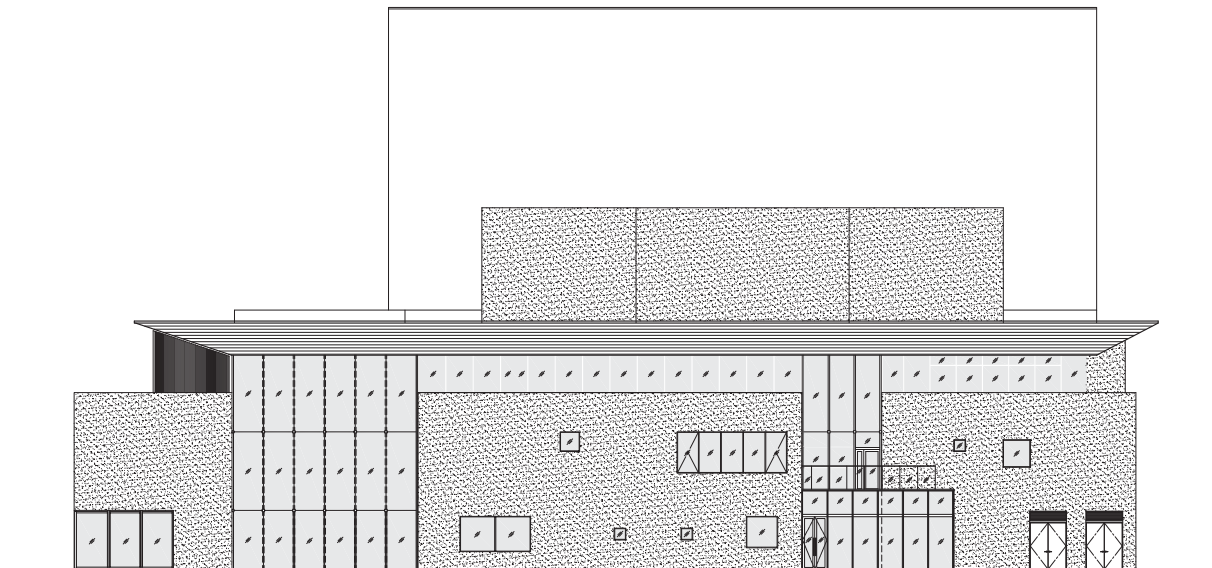
階	各室名称	面積 (㎡)	天井高 (m)	備考
1	大ホール	791席 (車いす席6席含む)	-	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽をベースに様々な舞台芸術に対応し、舞台と客席に一体感がある多機能ホール ・舞台はプロセニウム形式で客席は2層式 ・県産木材を積極的に利用した暖かみのある空間 ・乳幼児連れの方など気兼ねなく鑑賞できるよう多目的鑑賞室を設置
1	多目的ホール	約215㎡	-	<ul style="list-style-type: none"> ・会議利用で約150人収容の防振遮音構造 ・大ホール主舞台と同程度の広さとし、リハーサルや練習のほか、小さな発表会や展示会、会議等に利用 ・様々な用途に対応できる利便性の高い平土間ホール
1	ギャラリー兼創作室	約100㎡	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・可動展示パネルを設置し、大きな作品も展示可能 ・絵画や工作、舞台道具の作製等も可能
1	キッズルーム	約45㎡	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時には託児スペースとして利用でき、授乳室や子どもトイレも併設 ・前面芝生広場と一体的な利用が可能
1	市民交流スペース (エントランスホール)	約430㎡	10.9~2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模イベントや美術作品の展示等を行うギャラリーとしての利用も可能な空間 ・催し物がなくても、中高生をはじめ市民が気軽に訪れ、交流や憩いの場となり、施設の賑わいを創出するスペース
2	練習室兼会議室 大	約80㎡	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議利用で約70名収容 ・移動間仕切により練習室兼会議室中1と一体的な利用が可能
2	練習室兼会議室 中1	約50㎡	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議利用で約40名収容 ・鏡を設置し、バレエやダンスの練習等に対応
2	練習室兼会議室 中2	約40㎡	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・会議利用で約30名収容 ・防振構造とし、多目的用途に利用
2	練習室兼会議室 小1	約30㎡	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・防振遮音構造とし、楽器練習等に対応
2	練習室兼会議室 小2	約20㎡	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・防振遮音構造とし、楽器練習等に対応
2	和室	約45㎡	2.4	<ul style="list-style-type: none"> ・8畳×2室とし、茶道や日本舞踊の練習に対応 ・災害時は要援護者スペースとしての機能を想定

7 立面图

(1) 南立面图・西立面图



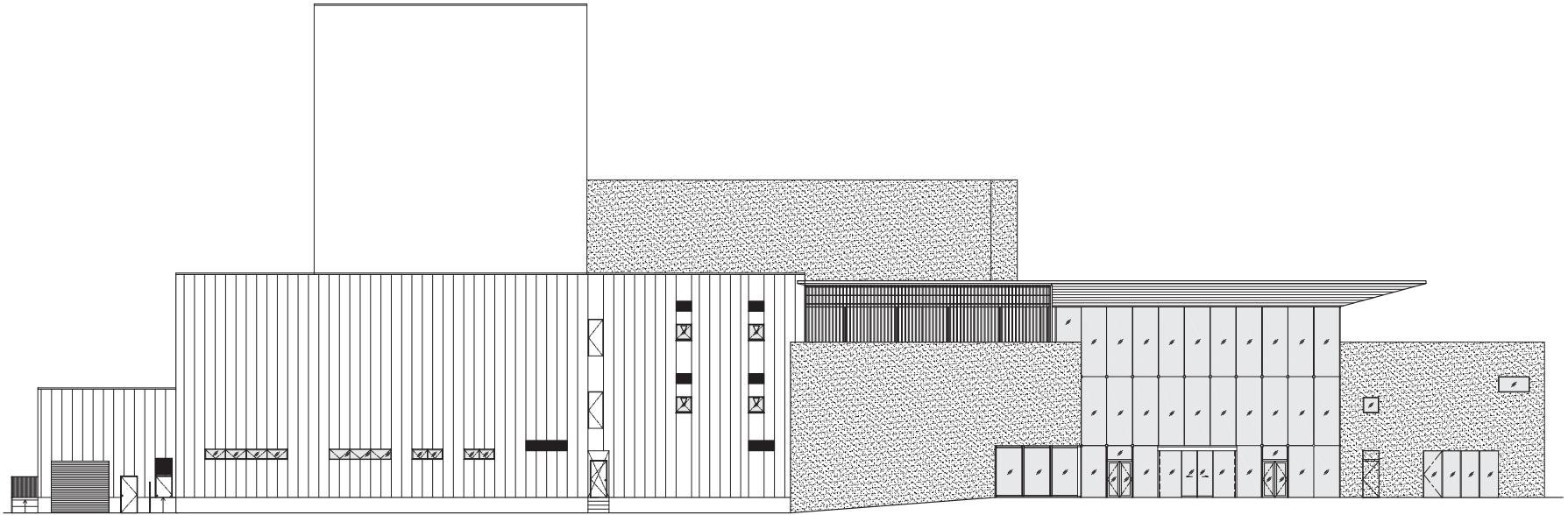
南立面图



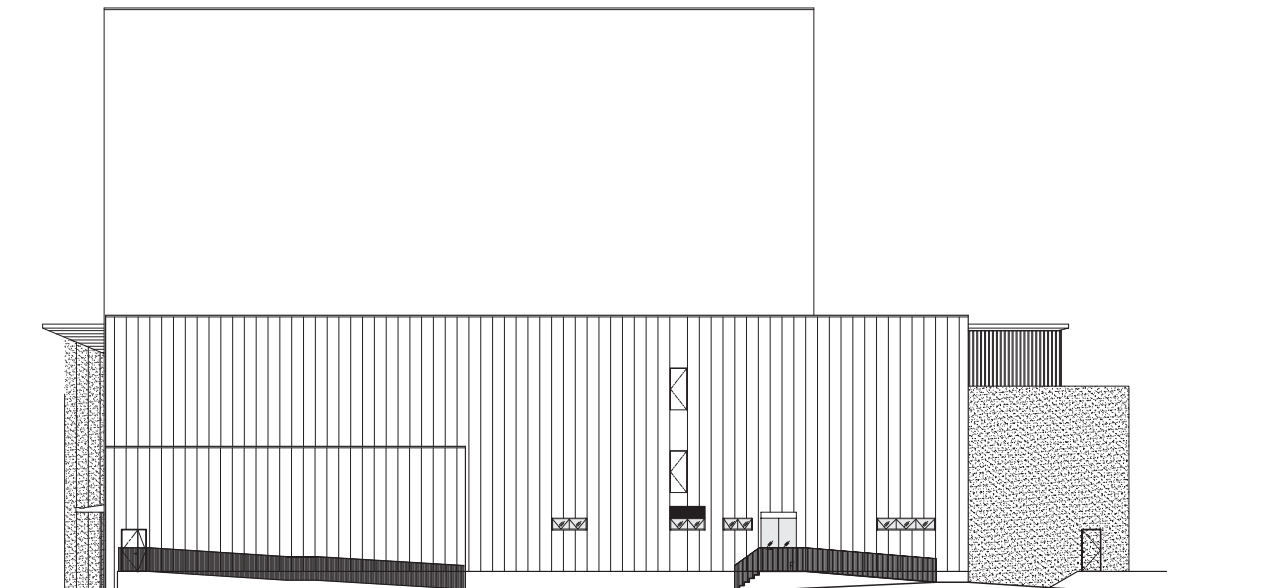
西立面图

7 立面图

(2) 北立面图・東立面图



北立面图



東立面图

8 環境に配慮した施設計画

新文化会館では音楽ホールとしての機能を維持しながら、建物の断熱性能を高めることで環境負荷を抑え、省エネルギー及び環境に配慮した計画とします。

大空間比率が高いホールの特性に合わせた床吹出空調による居住域空調や自然換気、太陽光発電システムなどで省エネルギーを実現します。

熱 高反射素材屋根・断熱材

高反射素材を採用することで日射負荷を抑制し、冷房負荷を低減

風 ホール客席床吹出空調

効率的な居住域空調を行うことで消費エネルギーを削減

風 CO2濃度による換気量制御

在室者変動に伴い、換気量を制御し、外気負荷を削減

風 個別空調

こまめな ON/OFF が可能な仕様に設定

光 人感センサー

トイレや管理廊下などの消し忘れ防止

森 県産木材の利用

地域の木材利用を促進し、CO₂排出量を削減

熱 Low-e+ペアガラス

日射遮蔽と断熱効果で空調負荷を低減

光 LED照明

一般・客席照明・非常照明・誘導灯の全 LED 化

天井二次部材削減

天井を構造材に直接貼ることで鉄骨二次部材を削減

光 太陽光発電機

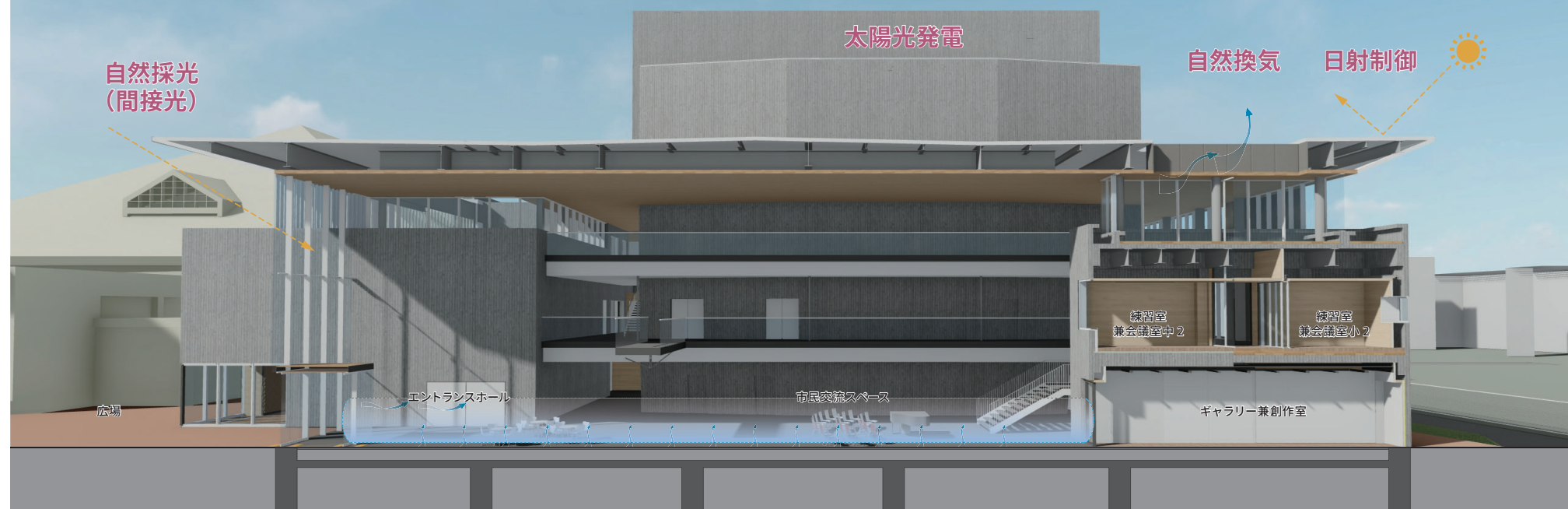
自然エネルギーを活用した創エネ

風 自然換気

窓の開け閉めが可能な設え

光 庇による日射制御

庇を設け、直射光による熱負荷を低減



光 LEDと従来光源を併用した舞台照明

性能やコストを考慮し、LED器具と従来器具を併用

風 居住域空調

居住域のみを空調し、省エネで快適な環境を維持

水 節水型トイレ

節水型として水の使用量を削減

熱 外壁高断熱化

断熱性能を上げて空調負荷を低減

9 電気設備計画

- ①構内配電線路設備 ・ 構内に架線で引き込み、外構部は地中埋設配管、建物内 EPS を経由して 2 階電気室へ電力を送ります。
- ②受変電設備 ・ 2 階電気室に屋内キュービクルを設置し、各電源盤に電力を供給します。
変圧器 : 油入変圧器 (トッランナー)
- ③非常用発電設備 ・ 3 階発電機置場に屋外キュービクル型を設置し、建築基準法及び消防法による防災電源、災害時の保安電源として電力を供給します。
発電機 : 三相 3 線 220V 350kVA (長時間型、屋外低騒音タイプ)
エンジン : ディーゼルエンジン
燃料種別 : A 重油
連続運転時間 : 約 20 時間 ※多目的ホール、管理事務室、和室、練習室兼会議室大及び中 1 については照明及び空調利用可能エリアとし、エントランスホール、スタジオ 1 の 2 階共用部を照明のみ点灯可能エリアとします。
- ④太陽光発電設備 ・ 屋上に太陽光発電設備を設置し、通常時は電力会社からの電力と混在させて館内の各負荷へ供給します。
・ 停電時にも活用できるように自立運転機能を付加します。
太陽電池容量 : 20kW
- ⑤防災照明設備 ・ 建築基準法、消防法により、非常照明及び誘導灯を設置します。
非常照明 : LED 電池別置型
誘導灯 : LED 電池内蔵型
- ⑥自動火災報知設備 ・ 建築基準法、消防法により、館内に感知器及び火災報知受信機を設置します。
受信機 : R 型複合盤
感知器 : 自動試験機能付
- ⑦防犯設備 ・ 利用者の安全を目的に主要箇所に防犯用カメラを設置できるよう配管を敷設します。
・ 1 階管理事務室にてモニター等で状況確認を行えるよう配管を敷設します。
- ⑧映像・音響設備 ・ 各練習室兼会議室に映像設備及び音響設備を設置します。
練習室兼会議室大、中 1 : プロジェクター、ワゴンアンプ、ワゴン接続盤、スピーカー、ワイヤレスアンテナ
練習室兼会議室中 2 : ワゴンアンプ、ワゴン接続盤、スピーカー、ワイヤレスアンテナ
練習室兼会議室小 1、小 2 : ワゴンアンプ、ワゴン接続盤、メインスピーカー、ワイヤレスアンテナ

10 機械設備計画

(1) 空調設備

- ①大ホール
多目的ホール
 - ・大空間の空調対応としてエアハンドリングユニット空調機による単一ダクト方式とします。
 - ・空調熱源
 - 大ホール : ガス炊き冷温水機（冷温水配管は2管式（冷房・暖房切替））
 - 多目的ホール : 電気式ヒートポンプ直膨ユニット空調方式（ユニット空調機＋空冷パッケージ室外機方式）
 - ②事務室・会議室
 - ・空調熱源（個別空調方式） : 電気熱源空冷ヒートポンプパッケージエアコン
 - ③エントランス
ホワイエ
 - ・空調熱源（個別空調方式） : 電気熱源空冷ヒートポンプパッケージエアコン（エントランスホールは床吹出方式）
- ※災害時、多目的ホール、管理事務室、和室、練習室兼会議室大及び中1については非常用発電機により空調利用が可能な計画とします。

(2) 換気設備

- ①換気方式
 - ・大ホール、多目的ホール : 第1種換気（外気処理機による）
 - ・上記を除くその他居室 : 第1種換気（全熱交換ユニットによる）
 - ・トイレ、更衣室、倉庫他 : 第3種換気

(3) 排煙設備

- ①機械排煙
 - ・舞台部について機械排煙設備を設置します。

(4) 衛生設備

- ①給水設備
 - ・給水系統 : 上水 敷地西側の水道本管φ200より分岐（不断水サドル分栓）し、量水器φ40を経て受水槽へ供給
※災害時、想定利用者数の3日分を受水槽に貯水
- ②排水設備
 - ・給水方式 : 上水（受水槽＋加圧給水方式）
 - ・屋内方式 : 汚水・雑排水・流し台排水分流方式
- ③給湯設備
 - ・屋外方式 : 雨水・汚水分流方式
 - ・給湯方式 : 個別給湯方式（貯湯式電気温水器、ガス給湯器）

(5) 消火設備

- ①消火器
 - ・全館対応
- ②スプリンクラー
 - ・大ホール舞台部のみ（開放型スプリンクラーヘッド）
- ③屋内消火栓
 - ・全館対応

(6) 昇降機設備

- ①一般用
 - ・乗用EV : 15人乗1台
- ②大ホール用
 - ・乗用EV : 15人乗1台



南西側外観